

中ノ島（島根県・隠岐諸島）からのマンボウの追加記録

澤井悦郎^{1,2}・大池 明²

¹ 〒 639-0200 奈良県北葛城郡上牧町 マンボウなんでも博物館

² 〒 684-0016 鳥取県境港市花町 8-1 海とくらしの史料館

はじめに

マンボウ *Mola mola* (Linnaeus, 1758) はフグ目マンボウ科 Molidae に属し、世界中の温帯・熱帯海域に分布する大型魚類である (Sawai et al., 2017). 日本近海におけるマンボウは北海道以南に広く分布しているが、マンボウとして報告された過去の記録にはウシマンボウ *Mola alexandrini* (Ranzani, 1834) が混同されていた可能性もあり、本種の分布の見直しが求められている (Yoshita et al., 2008; 澤井, 2017).

島根県・隠岐諸島の島前に属する 1 島である中ノ島（海士町）において、これまで学術的に報告されたマンボウの記録は 1 例のみであり (澤井・大池, 2024), 情報が非常に乏しい. そこで本研究はさらなる情報を得るため、2024 年 5 月下旬に第一著者が中ノ島に行き、マンボウ類の最も主要な漁法である定置網を行っている飯古建設有限会社定置網事業部と海士町漁業協同組合に訪問し、中ノ島におけるマンボウ類の過去の漁獲情報について聞き取り調査を行った. その結果、2016 年 4 月にもマンボウが 1 個体漁獲されており、その個体の写真もデータとして残されていたため、知見の少ない中ノ島における本種の追加記録としてここに報告する.

材料と方法

本研究で調査したマンボウ 1 個体 (Fig. 1) は、2016 年 4 月 29 日に隠岐諸島の中ノ島（島根県隠

岐郡海士町）の崎漁港沖に設置された定置網 (36°02'17.2"N, 133°05'26.5"E) で漁獲されたが、海に戻された. 本個体は直接計測されていないため、画像上で Fig. 1 の人物（顔は絵文字で隠されている）の手の横幅と対比させ、全長 190–205 cm と推定された. 本個体の種同定は、Sawai et al. (2017) と澤井 (2021) にしたがった. 本個体が漁獲されたおおよその海域の海面水温は、出現日が含まれる旬平均海面水温（気象庁, 2024）からデータを読み取った.

結果と考察

本研究で調査したマンボウ属 1 個体は、頭部と下顎下部が隆起していないこと (Fig. 1 矢印)、舵鰭縁辺部に明瞭な波型があること (Fig. 1 矢印)、胸鰭より後方の体表に頭尾方向の盛り上がったシワがあること (Fig. 1 黄色の囲み) からマンボウと同定された.

本研究で調査したマンボウ (Fig. 1) の漁獲場所周辺の海面水温は 15–16 °C であった (気象庁, 2024). 一方、澤井・大池 (2024) で記録された中ノ島産のマンボウは、2023 年 12 月 14 日に漁獲され、出現海面水温は 18–19 °C であった. また、隠岐諸島近海まで対象を広げると、これまで確認されたマンボウの出現時期は 5 月と 11–12 月、出現海面水温は 16–21 °C であった (川上ほか, 2008; Yoshita et al., 2008; 澤井・大池, 2024). 隠岐諸島近海において確実にマンボウと同定さ

Sawai, E. and A. Ooike. 2024. Additional record of *Mola mola* (Molidae) from Nakanoshima Island (Oki Islands, Shimane Prefecture), Japan. *Nature of Kagoshima* 51: 39–40.

✉ ES: Ocean Sunfishes Information Storage Museum, Kanmaki-cho, Kitakatsuragi-gun, Nara 639-0200, Japan (e-mail: sawaetsu2000@yahoo.co.jp).

Received: 16 June 2024; published online: 17 June 2024; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-009.pdf

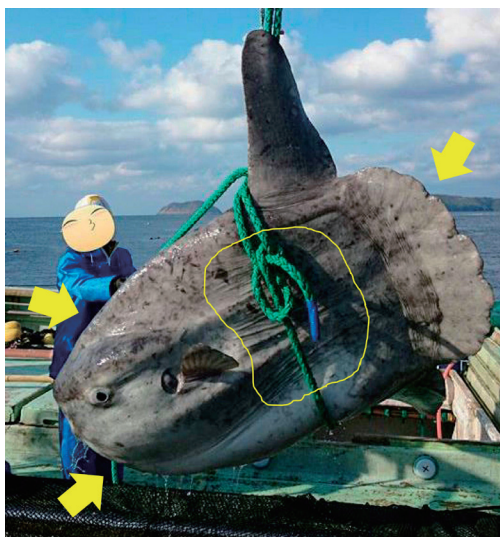


Fig. 1. An individual of *Mola mola* (190–205 cm estimated total length) captured by a set net off Saki Fishing Port (36°02'17.2"N, 133°05'26.5"E) on Nakanoshima Island (Amacho, Oki-gun, Shimane Prefecture) in the Oki Islands, Japan, on 29 April 2016. Yellow arrows and yellow enclosure indicate diagnostic characters for the species provided by Sawai et al. (2017) and Sawai (2021). Photographed by Hanko Construction Company, Set Net Division.

れた個体は、本研究の個体も含めてまだ4個体と少ないが (Fig. 1; 川上ほか, 2008; Yoshita et al., 2008; 澤井・大池, 2024), この海域では春季と秋季に出現する傾向が示唆された。中ノ島および隠岐諸島におけるマンボウの漁獲は稀と考えられるため (澤井・大池, 2024), この海域に出現するマンボウの生態を知るためには、今後も情報を蓄積していく必要がある。

謝 辞

本研究を取りまとめるにあたり、飯古建設有

限会社定置網事業部の大窪諒慈氏と笹鹿岳志氏には、本研究で使用したマンボウの写真や情報を提供していただいた。海士町漁業協同組合の浜 洋幸氏には、聞き取り調査に協力していただいた。島根大学隠岐臨海実験所および同実験所の吉田真明准教授には隠岐諸島での滞在において大変お世話になった。以上の方々には心から厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 川上 靖・一澤 圭・安藤重敏. 2008. 鳥取県沿岸に漂着した大型動物および漁獲された稀な動物の記録 (2006年~2007年). 鳥取県立博物館研究報告, 45: 17–22.
- 気象庁. 2024. 旬平均海面水温. https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/jun/sst_HQ.html (16 June 2024)
- 澤井悦郎. 2017. マンボウのひみつ. 岩波書店, 東京, 208 pp.
- 澤井悦郎. 2021. 写真に基づく三重県初記録のウシマンボウ, およびマンボウ属の新たな分類形質. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 8: 31–36.
- 澤井悦郎・大池 明. 2024. 写真に基づく中ノ島 (隠岐諸島) から得られたマンボウの確かな記録. Nature of Kagoshima, 51: 15–18.
- Sawai, E., Y. Yamanoue, M. Nyegaard and Y. Sakai. 2017. Redescription of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Ranzani 1839), senior synonym of *Mola ramsayi* (Giglioli 1883), with designation of a neotype for *Mola mola* (Linnaeus 1758) (Tetraodontiformes: Molidae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-017-0603-6 (Dec. 2017), 65: 142–160 (Jan. 2018).
- Yoshita, Y., Y. Yamanoue, K. Sagara, M. Nishibori, H. Kuniyoshi, T. Umino, Y. Sakai, H. Hashimoto and K. Gushima. 2008. Phylogenetic relationship of two *Mola* sunfishes (Tetraodontiformes: Molidae) occurring around the coast of Japan, with notes on their geographical distribution and morphological characteristics. Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-008-0089-3 (Dec. 2008), 56: 232–244 (July 2009).